

議会だより かみやま

第66号

2025.11.15

9月定例会

祝

神山町町制施行
70周年記念式典会場

令和7年10月19日(日)



- 町長の行政報告..... 2頁
- 9月定例会..... 3頁
- 令和6年度決算・令和7年度補正予算..... 4～6頁
- 9月定例会一般質問..... 7～9頁

町長の行政報告

大阪関西万博

7月23日からの3日間、徳島県ブースで、神山すだちのPRとして出店し、盛況であった。参加した職員も良い経験ができたと思う。

すだちワーキングホリデー

9月4日から開催。町内生産者のもと、収穫の仕事に取り組み、休日には川遊び、まちの散策など、里山での暮らしを味わえる。今年度、10日間の短期コースと24日間の長期コースで行っているが、すべて予約で埋まっている。すだちの生産量日本一を誇る一方、高齢化や担い手不足が進み、人手不足が懸念されているが、「援農」という形で収穫の仕事をするとともに町内の散策や農家の方との交流を通じて、神山を知る機会になればと取り組んでいる。

まちを将来世代につなぐプロジェクト

今年で10年目を迎える。8月8日と25日に、「まちを将来世代につなぐ作戦会議」を開催。立場や世代を超え、さ

まざまな声が活発に出された。第3期目のプロジェクト作成に力を注ぎ、進めていく。

地域防災訓練交付金

国の補助金を活用し、防災倉庫、防災備品等を整備している。南海トラフ巨大地震の発生確率が上り、トカラ列島群発地震、線状降水帯による豪雨など、何時どこで災害が起こるか予測できない状況に對し、地域で継続して訓練ができるよう、地域防災訓練交付金を計上する。訓練を実施する団体等を対象とし、町としても共に取り組んでいく。

渇水対策

本年、猛暑日が多く、降雨量が少ない期間もあり、水不足となっている。渇水による家庭での入浴が困難な方を対象に、神山温泉を無料で利用できるようにしている。

国勢調査

今年度は5年に1度の国勢調査の年である。この国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人と世帯を対象とする国の最も重要な調査とされて

おり、国勢調査から得られる統計は、国や地方公共団体の行政などにおいて利用されることはもとより、民間企業や研究機関でも広く利用され、国民生活に役立てられている。本町でも調査実施に向けて、現在、調査員の事務打合せ会を行っており、10月にかけて調査を進めていく。町民の皆さまには、調査に御理解と御協力をお願い申し上げます。

神山町町制施行70周年

10月19日（日曜日）、町制施行70周年記念式典を開催する。町発展のため、尽力、支援いただいた方々に、表彰状、感謝状を贈呈したいと準備をしている。

鳥獣害対策

今年度、鳥獣対策室を立ち上げ、対策を強化している。有害鳥獣の捕獲強化に捕獲檻の設置を進めているが、まず農作物の被害を食い止めるため防護柵補助金を追加計上している。本町として最大限取り組みを進めていく。

令和7年度の地方交付税

本年度普通交付税の算定が終わり、昨年度の算定時より7,647万3,000円の増額となっている。地域振興費の増加、公債費の過疎対策事業について償還額の増加による需要額の増加が主な要因。物価高騰の影響で、地方の経済は依然として厳しく、自主財源が少ない団体には、今後も厳しい状況が予測される。本町においても、歳入確保に取り組み、優先順位の高い事業を見極め、限られた財源の効率的な利用に努める。

補正予算

一般会計は、3,974万円を追加計上した。主に神山温泉入浴料割引交付金、物価高騰対策支援給付金、広域斎場負担金など。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計について、それぞれ補正額の計上をしている。

9月定例会は、令和7年9月4日から12日までの9日間の会期で開催した。令和7年度補正予算、令和6年度決算認定、条例改正等、全14議案が提出され全議案可決・認定・同意した。

また、請願1件、発議案2件が提出されそれぞれ採択・可決した。

補正予算

- 令和7年度神山町一般会計補正予算（第3号）
- 令和7年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度神山町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和7年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

決算認定

- 令和6年度神山町一般会計歳入歳出決算認定
- 令和6年度神山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和6年度神山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和6年度神山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 令和6年度神山町簡易水道事業会計歳入歳出決算認定

条例等

- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 財産の取得
- 財産の取得の変更

人事

- 神山町教育委員会委員の任命

【請願第1号】

再審法改正を求める意見書採択の請願書
提出者：徳島市新蔵町1丁目31番地
徳島弁護士会 会長 坂田 知範
紹介議員：神山町議会議員 仁志 哲也
採決結果：賛成7・反対0 【採択】

【発議案第1号】

「徳島県平和の日」の条例制定を求める意見書
提出者：神山町議会議員
森 一博 ほか3名
採決結果：賛成7・反対0 【可決】

【発議案第2号】

再審法改正を求める意見書
提出者：神山町議会議員
志甫 守 ほか3名
採決結果：賛成7・反対0 【可決】

一般質問

佐出 由恵議員、白土 義信議員、高橋 義英議員

令和6年度

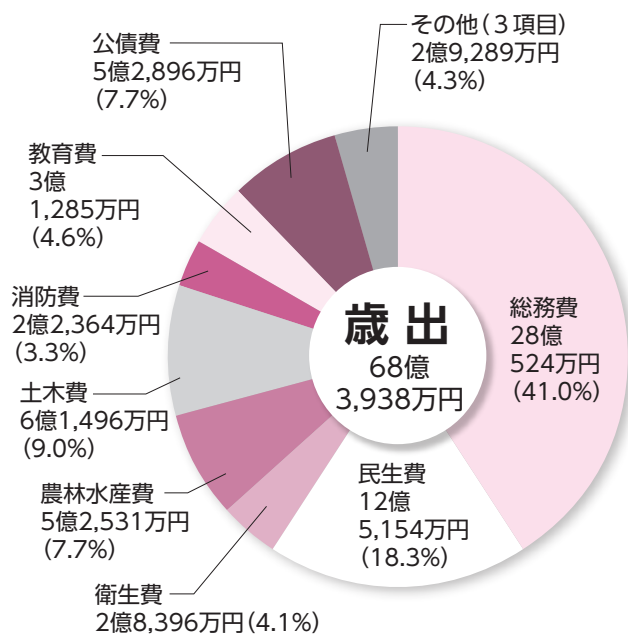
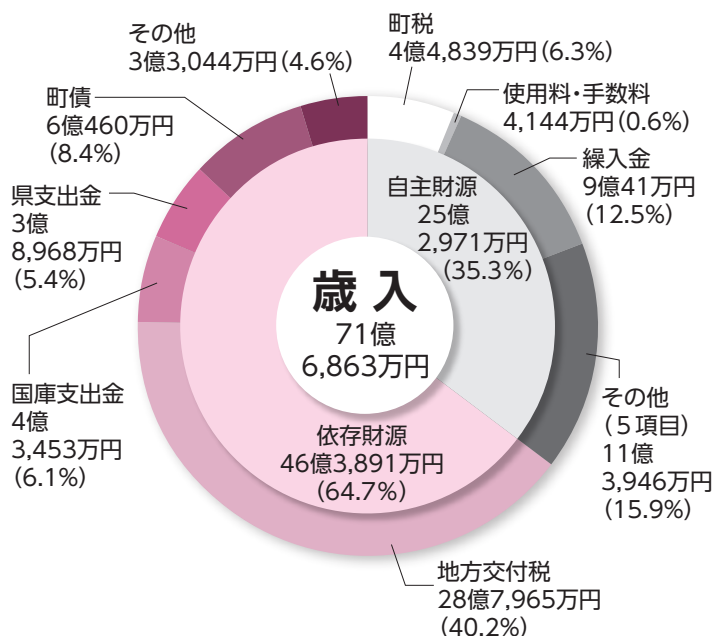
決算

一般会計と特別会計合わせ

90億3,609万円を認定!!

●一般会計 歳入

●一般会計 歳出



●令和6年度決算状況

会 区 計 分		一般会計	特 別 会 計				計 (簡易水道は除く)
			国民健康保険	簡易水道	介護保険	後期高齢者医療	
歳入	令和6年度	71億6,863万円	7億1,528万円		10億2,179万円	1億3,039万円	90億3,609万円
	令和5年度	74億7,543万円	7億4,696万円	4億5,785万円	10億4,410万円	1億2,659万円	93億9,308万円
	増減額	△3億 680万円	△3,168万円		△2,231万円	380万円	△3億5,699万円
	増減率 (%)	△4.1	△4.2		△2.1	3.0	△3.8
歳出	令和6年度	68億3,938万円	7億 612万円		9億8,806万円	1億2,974万円	86億6,330万円
	令和5年度	70億9,960万円	7億3,955万円	4億1,627万円	9億9,693万円	1億2,631万円	89億6,239万円
	増減額	△2億6,022万円	△3,343万円		△887万円	343万円	△2億9,909万円
	増減率 (%)	△3.7	△4.5		△0.9	2.7	△3.3

●令和6年度 簡易水道事業会計 (公営企業会計)

※簡易水道が、企業会計へ移行した初年度のため前年度との比較は無し

区 分	予算額		決算額		増減額	増減率 (%)
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度		
収益的收入	—	2億1,178万円	—	2億 765万円	—	—
収益の支出	—	2億 610万円	—	2億 258万円	—	—
資本的收入	—	2億 227万円	—	2億 236万円	—	—
資本的支出	—	2億4,316万円	—	2億3,428万円	—	—

●令和6年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	令和6年度	令和5年度	
財 政 力 指 数	0.19	0.19	財政力を判断する指標、1を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	77.8	78.7	財政構造の弾力性を判断する指数、70～80%が適正水準である。
実 質 公 債 費 比 率	3.5	2.9	全ての事業の公債費率で、18%以上は起債（借入金）に知事の許可が必要。

●令和6年度町税等未収金の状況

区 分	未収金		前年との比較	
	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率 (%)
町 税	8,027,427	8,569,470	△ 542,043	△ 6.33
町 営 住 宅 使 用 料	3,955,700	3,930,500	25,200	0.64
国 民 健 康 保 険 税	3,884,100	3,154,992	729,108	23.11
介 護 保 険 料	118,700	229,100	△ 110,400	△ 48.19
後期高齢者医療保険料	138,300	21,300	117,000	549.30
計	16,124,227	15,905,362	218,865	1.38

地方債現在高(3月31日現在) **63億3,359万円**

●基金残高(令和7年5月31日現在)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
一 般	財政調整基金	30 億 9,259 万円	1 億 9,890 万円	32 億 9,149 万円
	減債基金	9 億 3,968 万円	320 万円	9 億 4,288 万円
	その他の基金	71 億 2,467 万円	△ 1 億 491 万円	70 億 1,975 万円
国 保	財政調整基金	8,967 万円	421 万円	9,389 万円
	その他の基金	500 万円	0 万円	500 万円
介 護	介護給付費準備基金	1 億 7,509 万円	667 万円	1 億 8,176 万円

補正予算



議案第 48 号 ■令和 7 年度一般会計補正予算 (第 3 号)

歳入歳出それぞれ

3,974万円増額

予算総額

74億2,520万円

歳入	国庫支出金	国庫補助金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	917 万円
	町	債 保 健 衛 生 債	広域斎場整備事業 (過疎)	1,770 万円
歳出	総 務 費	企 画 費	神山温泉入浴料割引交付金	400 万円
	民 生 費	社会福祉総務費	物価高騰対策支援給付金	541 万円
	衛 生 費	住 民 葬 祭 費	広域斎場負担金	1,712 万円
	農林水産業費	鳥 獣 害 対 策 費	農作物被害対策施設整備補助金	200 万円
	商 工 費	神山温泉管理費	備品購入費 (シューズボックス : 396 人分)	291 万円
	消 防 費	災 害 対 策 費	地域防災訓練交付金	80 万円

議案第 49 号	令和 7 年度神山町国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)		
	103 万円増額	総額	7 億 8,100 万円
議案第 50 号	令和 7 年度神山町介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)		
	195 万円増額	総額	10 億 1,453 万円
議案第 51 号	令和 7 年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)		
	87 万円増額	総額	1 億 3,415 万円

人 事 案 件

議案第 61 号	神山町教育委員会委員の任命		
	山口 英二 氏	神山町阿野 任期：令和 7 年 10 月 1 日～令和 11 年 9 月 30 日	

一般質問



佐出由恵 議員

佐出議員の録画映像はこちらから

●質問1● 地籍調査について

徳島新聞に地籍調査の進捗状況が掲載され、県内ワースト3の16・3%とあるが、神山町のホームページでは平成29年度の11・55%となっており乖離がある。今後の方針や具体的な対策についての説明を求める。

答弁 税務保険課長

令和6年度末時点での全調査完了面積は24・02km²で、進捗率は14・21%で、事業の10箇年計画は令和2年度から令和12年度までの間に約28km²調査し、令和12年度末には全調査完了面積40km²、進捗率24%を目標に事業を推進している。今後も国、県に対し要望を重ね、地籍調査の一層の推進に努める。

事業の目的の一つは被災時速やかに復旧工事であるため、さらに成果を上げるよう指摘する。

●質問2● 青線、赤線について

地籍調査完了地域で、赤線・青線が適切に管理されていない箇所があり、特に青線では増水による溢水被害の可能性が指摘されている。町の認識と対応を伺う。

答弁 建設課長

赤線・青線は、現在市町村管理だが、箇所数が膨大で行政単独の維持管理は困難である。現況利用に応じた用途廃止や隣接地への払い下げ、地域住民との協働による日常的な維持管理、境界確定のための地籍調査の推進を組み合わせた効率的かつ適正な管理を進めている。

水路等の赤線、青線については、地元管理でお願いしている。

町から状況に合わせた適切な指示やアドバイスを受けられるよう広報すべきだ。

●質問3● 町営住宅への進入路について

高瀬団地から荷物を積んで出ようとしたトラックが県道を塞ぎ復旧に2時間を要し、歯ノ辻団地では消防団員の車両が車底を擦る事態が発生している。

県道の拡幅工事や舗装工事で改善

が見込まれるため、関係機関と協議して早急に対策を講じるべきではないか。

答弁 住民課長

高瀬団地、歯ノ辻団地とも改良工事は現時点では難しい状況だが、安全性の向上は重要な課題でもあるので町担当課や県と検討しながら、路面の補修や注意表示の設置など改善の可能性を探っていきたい。

高瀬団地では他にも大きな事故に繋がる可能性のある事故が発生している。事故が起こってからでは遅いので、1日も早い改善を求める。

●質問4● まねいっ高専について

令和6年度約7・6億円、7年度約9・8億円が負担金、補助金及び交付金として支出や予算化されている。将来的にふるさと納税制度が廃止されても、高専独自に学校運営ができる体制を整える必要があると考えるが、町としてはどのようにお考えか。

答弁 まちづくり戦略課長

ふるさと納税の制度は最大限活用するが、高等専門学校の設立主体はあくまで民間法人であり、町が継続的に補助金を支出して学校経営を支えるといったことは想定していない。

町として高専への協力に異議はない

く、協力は当然と考えるが、私立高専であり、前町長が公私協力校でも公立民営校でもなく「町民の皆様には累は及ぼさない」と約束したことを忘れず、早期の自立を支援して頂きたい。

●質問5●

神山町の食料自給率について

昨年から全国的な米不足が生じ、価格の高騰が続いている。町内での米の収穫量や自給率は把握しているのか。

答弁 産業観光課長

町内での米の収穫量は令和7年度は31・7ヘクタール、約133トンで、昨年度より収穫量で約4トン減の予定である。

再問

海外からの輸入停止や大災害時に米を町内で確保できるように農地や水路の維持を計画実行しているのか。

答弁 産業観光課長

農地の有効活用を進める制度である農地中間管理機構への届け出や農道や水路の維持管理、草刈り、補修などの共同活動や、個々の農地を維持するための取り組みに対する中山間地域等直接支払制度を活用していただきたい。

各種制度を町民の方に広報していく必要があるのではないかと。

一般質問



白土義信 議員

白土議員の録画映像はこちらから

●質問1● 山水の水源確保と、補修の行き帰り時の 事故防止について

簡易水道のない山間部において、水不足、高齢化、人数減少等で、水源地の維持管理が難しくなっている。行き帰りに重大事故も発生している。つい最近も上分地区で、高齢者の方が、水源地の補修に行っていて滑落して、大けがを負った。二人で行っていたということで、連絡ができ、助かったとのことだが、過去には亡くなられた方もおられるということも聞いた。上分地区に限らず、水源地が山の上のほうにある世帯にとつては、これからも考えなければならない大きな問題ではないかと思われる。生活水を谷の水に頼まなければならない地区にとつて、水が来なくなったときに、これから先、高齢者だけでは、対応できなくなっていくことも予想される。高齢者が無理をして、水を掛けに行かざるをえないことから、事故をするところが懸念される。このことから、山間部の生活水確保について、また止まった時の

修理の手立て等、今後町として何らかの対策が必要でないかと思うが、何か考えられているか。

答弁 町長

水源地の確保と水源補修の行き帰り時の事故防止について、個々に分けて答弁をさせていただきます。

まず、水源地の確保問題では、以前より実施している小規模飲料水供給対策事業補助制度を設けて水源確保や維持対策として実施しており、ここ5年間で73件の申請があり、受益個数では、117戸のご家庭で制度をご利用いただいている。補助対象経費の3分の2の高い補助率と1戸からでも対象となり皆様に喜ばれているので、引き続き取り組んでまいりたい。

森林の適切な管理面では、平成11年より始まった森林境界の明確化事業では、今年度までの予定事業を含めると町内森林の37%の面積が実施済みとなっている。今後間伐事業などを実施するためには、前段階として、非常に必要な事業であるため、引き続き取り組んでいきたい。

また、町有林の広葉樹への植栽事業では、ここ3年で、イロハモミジやケヤキなどを3.5ヘクタールで実施している。この他にも緊急間伐事業として、民有林の間伐事業を実施しており、上分地区で12・2ヘクタールを実施している。これらの事業は、鮎喰川の水を少しずつでも増やしていけば、と思い取り組んでいる。

また、地球温暖化などによる長期間に及ぶ高温小雨の影響もあり、鮎喰川の水量の

減少が続いており、このようなことが毎年のように繰り返されている。根本的な解決策の一つとして、来年以降の計画段階だが、ブナなど広葉樹の占める割合が多い民有林を買い上げ、公有林化を進め、同時に杉などの間伐事業を実施し広葉樹化を進め、少しずつでも、水源確保になればと考えている。

次に水管理時の事故防止について、町の簡易水道を使用されていない方が町内で約23%あり、その内、高齢者のみの世帯などで、近くにご家族や知り合いがおらず、水をご自分で管理が十分にできない家庭がどのくらいあるかというのは、町では実数把握はできていない。水の確保は、重要な問題で、そこに住み続けることもできなくなるほどの大きな問題である。

維持管理の一つの方策として、総務省、厚生労働省所管の特定地域づくり協同組合の制度を活用する検討を進めている。制度としては、令和2年に制度化され、県内では、4市町において取り組まれている。地域の担い手不足に対応するための制度で、地域の若者などを雇用し安定した職場環境と一定の給与水準を確保することで地域づくりを担う人材を育成し、地域社会の維持や地域経済の活性化を目指すものである。事業概要については、地域内の複数の事業者などが組合を設立し、そこで採用した職員をマルチワーカーとして、労働需要に応じて様々な事業者の仕事に従事させる仕組みで、年間を通じた仕事を組み合わせることにより、安定した雇用を創出するものである。

運営財源については、個人から利用料、また国や町からの補助金があるので利用者個人からの負担も軽減されるものである。

意欲のある事業者が事業組合として、県に認定されると、既存の地域の団体やボランティア活動との連携も視野に入れて、持続的な仕組みを構築でき、すぐに全面的な対応は難しいことではあるが水管理の問題や草刈りを始めとする、ご家庭での困りごとなど、身近にある問題解決に向けて少しずつでも進んで行くのではないかと。

県内での取組事例やその他の自治体も参考にし、前向きに検討を進めるとともに、水源確保も同時に進め、安心して暮らせる地域社会となるよう取り組んでまいりたい。

再問

小規模水道飲料水供給対策事業について詳しくお願いしたいと思います。

答弁

建設課長

神山町小規模飲料水供給施設対策事業だが、補助金要綱等があり、まず認定される補助費で、補助が事業費の3分の2ということである。それと受給者については、受給者1戸以上から50人未満となっている。総事業費が5万円以上200万円以内となっている。

詰まりにくい水源の対策ということだが、水道設備、水源の設備というか施設の水のとり方とか装置によって変わってくると思うが、地元の方とか業者の方とかで相談していただけたらいいものができるのではないかと、水源についても地元の方で考えていただければと思っている。

一般質問



高橋義英 議員



高橋議員の録画映像はこちらから

●質問1●

6月15日のスポーツ少年団について

6月15日に開催予定のスポーツ少年団球技大会前日の夕方には雨も降っていなかったし、当日は晴れていて、グラウンド状態も悪くなく、多くの保護者から開催できたのではないかと聞く。

- 1 大会日程を7月から6月へと変更した理由。
- 2 その際に想定されたメリット、デメリットについて。
- 3 教育委員会としてどのように判断されたのか。
- 4 選挙との関係はあったのか。
- 5 今回、誰がどのような理由で、当日の天候を見極める

前に、前日中止の判断をしたのか。

6 グラウンドの状況や、安全確保の観点など、具体的な事情があったのか。

7 子供たちの気持ちや努力を尊重する教育的観点から見て、今回の判断はどのように説明できるのか。

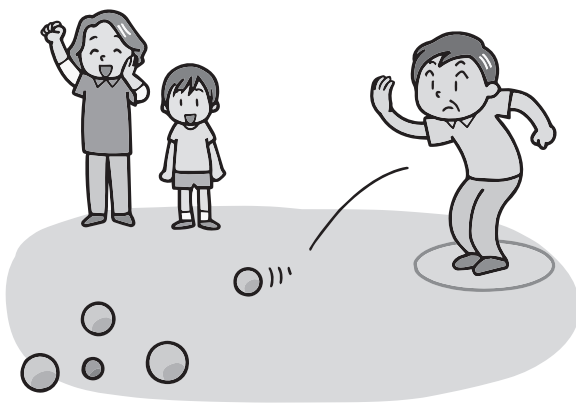
8 今後同様のケースが起きた際、どのように判断、対応していくのか。

答弁 教育委員会教育次長

大会の日程や運営は、スポーツ少年団代表指導者会で行っている。熱中症が危惧されること、また選挙があり当初6月の末を予定で日程を調整した。ところが中学校の中間テストや、少年野球の大会があることから、6月15日に決定をした。前日中止を決定した理由については、大会前日の14日は午後3時過ぎの段階で強い雨が降り、グラウンド全体に水が溜まった状態で、夜中にも雨が降る予報であり、グラウンドゴルフとペタンクを行うのは難しい状況だった。スポーツ協会の会長とスポーツ少年団本部長と事務局で協議をして、中止とした。

球技大会の時期には、各種行事が多く雨天となった場合は、毎年延期を行わず中止にしている。

今回、中止としたことで楽しみにしていたのに残念だったというご意見があったこと、次年度のスポーツ少年団代表指導者会に報告して、開催時期や雨天時の中止、延期等の対応を協議し、有意義な球技大会となるように努めてまいりたいと考えている。



再問

今後、当日の天候を見極めてからの最終判断、予備日を設けるなど、子供たちの努力が無駄にならない工夫を検討していただけなのか。

答弁 教育長

当日の朝、できない可能性が非常に高いのに、気を持たせるのはどうなのかという部分も一部はあったと思う。朝からせっかく準備していたのに、結果的に出来ない場合もある。だが、お話のあったように、今後は十分そういったことも考えながら、来年度の指導者の運営協議会で決定していけたらと思っている。



神山の風景

狙いを定めて、赤、青のボールを静かに投げる参加者の方々。10月3日に開催された神山町高齢者体育大会の風景です。パラリンピック正式種目でもあるボッチャが大人気でした。座ったままでもでき、緻密な戦略が必要なこの競技は、体力に自信のない方や車いすの方も一緒に楽しめます。

(高橋義英)



表紙写真説明

令和7年10月19日に神山中学校屋内運動場で、神山町町制施行70周年記念式典が開催された時の写真です。

神山町は1955年(昭和30年)3月31日に阿野村・鬼籠野村・神領村・下分上山村・上分上山村の5村が合併し本年70周年という大きな節目を迎えました。合併当時は2万人いた人口も、本年4月時点では4,594人と約4分の1まで減少しました。過疎・少子高齢化などの大きな問題を多く抱えています。町と議会が一丸となり問題解決に取り組んでまいりたいと思います。

(高橋義英)



式典での議長挨拶の様子

議会の動き(予定)

- 11月 20日 議会運営委員会
- 12月 上旬 12月定例会
- 12月 下旬 議会広報調査特別委員会
- 1月 2日 神山町二十歳を祝う会
- 11日 神山町消防出初式
- 2月 上旬 勝名地区町村議会議員研修
- 15日 議会だより第67号発行

つぶやき



冬の気配が感じられる季節となりました。

今年もやはり猛暑になる予想が当たりました。毎年くうんざり。少し前までは「省エネの夏」だと、言っていたように思うんですが、今はもうエアコンを一日中使い続けなければならず、そうすれば地球温暖化をあり、巡り巡って酷暑に拍車をかけ自分自身に返ってくる。

涼しい秋はどこへ行ったやらの思ふのは僕だけでしょか。

(志甫 守)